

市のお金、何に使って

活かされた?

決算
審議

決算認定！お金の使い方チェック



市税などの
債権整理

田口浩二 議員

問令和元年度の不納欠損(※)額5,063万円の原因、件数は?

答生活保護を含む生活困窮によるものが1,085件、事業不振・倒産等が404件、滞納処分財産なしが1,910件、居所不明が128件となっている。

※未納となっている市税などの債権のうち、徴収の見通しが立たないなどの理由で未収金から除くこと



財政



さらなる
財政運営の
見直しを

中村聖二郎 議員

問コロナ禍で財政運営のさらなる見直し、地域課題の解決に向けたまちづくりを期待されているか?

答財政構造改革への道のりは厳しさを増している。しかし改革に向けた意欲はいささかも揺らいでいない。将来を見据えて財政運営のさらなる見直しを図り、持続可能な財政構造への転換を図っていききたい。



ふるさと納税
寄附額が増加

金田稔久 議員

問ふるさと納税の取り組みと実績は?

答市内事業者に対する説明会の開催等を実施し、新たに6つの事業者からの出品をいただいている。実績は約2億6,000万円の寄附額となり、前年度から約8,000万円増加。返礼品ではニューピオーネや地酒などが人気である。



産業



多摩美術大学との
コラボレーション

安東伸昭 議員

問「つやま家具プロジェクト」として取り組んだ多摩美術大学との商品開発について内容は?

答地域の木製品の高付加価値化と森林資源の循環を目的に実施。多くの学生からデザイン提案を受け4点を市内企業が製品化。東急ハンズ新宿店で試験販売する予定であったが、コロナの影響で中止となった。今後は機会を捉えてPRを実施したい。



ICT環境整備
効果は

三浦ひらく 議員

問学校ICT環境整備事業に割かれた金額とその効果は?

答決算額は小中学校の合計で約508万1,000円である。市内全校の普通教室へのプロジェクタ、教員用タブレット及び無線LANの設置が完了したことにより、高い視覚効果等による分かりやすい授業を展開する環境が整ったことが大きな効果であると考えられる。



教育



教育に対する
取り組みの総括

河村美典 議員

問どのような考えのもと教育・人材育成を実施したか?

答知育、徳育、体育など、教育の質を向上させるとともに、すべての子どもたちへの学習の機会を整えることが、行政の役割と考えている。ICT機器の整備や教師業務アシスト員の配置など、教育環境の充実に積極的に取り組んでいる。



社会福祉士
人員体制は

秋久憲司 議員

問社会福祉士配置に向けての取り組みは?

答昨年度末時点では嘱託職員として発達障害者支援コーディネーター1名、自立相談支援員2名の有資格者を配置している。また、事業委託を行っている地域包括支援センターにおいても有資格者の配置が条件付けられており有資格者11名が配置されている。



福祉



めざせ元気!
こけないからだ
講座

美見みち子 議員

問こけないからだ講座(※)の実績と活動人数は?

答昨年度7か所の地域で新設され、216か所となっている。活動延べ人数は10万4,278人で実人数は3,837人である。

※高齢者が住み慣れた地域で自分らしく生活し続けること、高齢者の方を温かく支えることができるような地域にするための場づくりを目指す介護予防事業

前回の9月定例会で提出された令和元年度会計決算議案については、議員8人が津山市当局に対して質疑を行いました。その後、12月定例会初日に採決を行い、すべての決算議案を認定しました。

今回は、「福祉」「教育」「産業」「財政」の4つをピックアップして決算質疑の概要の一部を紹介いたします。決算質疑の録画映像は下のQRコード右からご覧いただけます。

決算内容の詳細については「広報津山1月号」(下のQRコード)左からアクセス)に掲載されていますので、あわせてご覧ください。



広報津山
1月号

QRコードをスマートフォンなどで読み取ると、ご覧いただけます。



決算質疑
録画映像

QRコードをスマートフォンなどで読み取ると、質問の様子がご覧いただけます。(決算質疑はページ下段)